

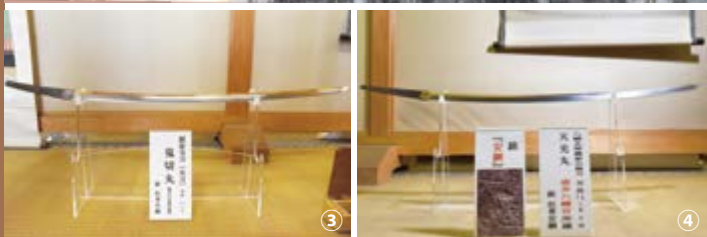


②

①国登録有形文化財の宝物殿②源頼光公の御神影  
 ③平安期、安綱によって手掛けられ、今なお美しく輝く宝刀「鬼切丸」④安綱作で重要美術品に認定されている宝刀「天光丸」⑤「大江山鬼退治絵巻」の一部。鬼を酒で酔わせている様子などが描かれている



①



③

④



⑤

## 記録上初めて抜き身で公開される源家の宝刀「鬼切丸」など 千年を超える悠久の歴史 多田神社宝物殿で特別公開

問い合わせ 多田神社 ☎072(793)0001

### 刀匠安綱が手掛けた源家の宝刀「鬼切丸」

多田神社二の宮源頼光公〈治安元(1021)年7月24日薨去〉の「壹阡年大祭記念事業」として、多田神社宝物殿に収められた刀剣類や絵図など、貴重な品々が5月から一般公開されています。

源頼光公は、多田神社の前身である多田院を建立した源満仲公の長男。坂田金時ら四天王を従え、大江山で「酒呑童子」という鬼を退治した伝説が有名です。

今回展示されている平安時代の太刀「鬼切丸」は、その鬼退治に使われたと伝わる源家の宝刀。刀は現存する記録上、初めて抜き身の状態で展示され、1,000年の時を経て薄れない刀身の輝きを間近で見ることができます。刀の茎には、国宝「童子切安綱」（東京国立博物館所蔵）なども手掛けた平安時代の刀匠大原安綱の銘が刻まれています。

また、「鬼切丸」と同じ安綱作「天光丸」（壺井八幡宮所蔵）も展示。八幡太郎義家公が身にかけたとされています。

その他にも、酒呑童子退治の様子を描いた「大江山鬼退治

絵巻」など源氏ゆかりの宝物や、徳川將軍家から奉納されたよろいかぶとなど、多田神社に伝わる宝物が展示されます。

### 宝物殿も見どころの一つ

展示会場の宝物殿は、昭和4年に建てられました。日本の伝統的な社寺建築の型式・技法が取り入れられており、国の登録有形文化財に登録されています。高さ約1.5mの基礎の上に立ち、構造は鉄筋コンクリート造りですが、屋根と玄関ポーチは木造になっています。中では、木造の展示ケースが当時の姿のまま使用されています。

また、第2次世界大戦中には「兵庫県国宝収蔵庫」として県下の国宝の疎開場所に選ばれていました。国宝24点、重要美術品59点が収蔵され、神戸大空襲の戦火を免れることができました。

### 公開日時

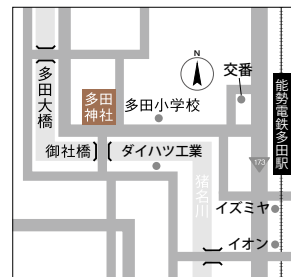
7月31日までの**土日祝**

いずれも午前10時—午後3時  
 (注) 7月24日(土)は閉館

### その他

入館料は無料。会場内は撮影禁止です。

### 周辺地図



### CHECK & QUIZ 次の空欄(○の中)を埋めてください。

1:○○場所の事前確認 2:農業や○水の使用は最小限に

クイズ正解者の中から図書カード(1,000円分)を5人に差し上げます(正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します)。応募方法:市ホームページ(右の2次元コードからアクセス可)から必要事項を送信するか、はがきにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、6月10日(休)(消印有効)までに〒666-8501・広報広聴課「クイズ」係へ。

※5月号の正解は(家庭)(居)で、72件の応募がありました。



### 4月末現在の人口

男……………73,604人 (-78)  
 女……………82,305人 (-29)  
 計……………155,909人(-107)  
 世帯数…70,626世帯 (+7)